

グラフテイ[®]

顆粒水和剤



株式会社 二チノ一緑化

登録内容

作物名	適用場所	適用雑草	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	フルポキサムを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園 提とう 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	一年生 雑草	雑草 発生前	150～ 450g/10a	100～200L /10a	2回 以内	散布	2回以内

グラフティ顆粒水和剤の組成

種類名 フルポキサム水和剤

組成 フルポキサム **50%** 鋳物質微粉、界面活性剤等 **50%**

性状 淡灰色水和性細粒

人畜に対する影響

急性経口毒性(LD50) ラット ♀ >2,000mg/kg

急性経皮毒性(LD50) ラット ♂ >2,000mg/kg ♀ >2,000mg/kg

皮膚刺激性 ウサギ 刺激なし

眼刺激性 ウサギ 軽度の刺激性あり

皮膚感作性 モルモット 感作性なし



グラフティは普通物(毒物・劇物に該当しないものの通称)です

環境に対する影響

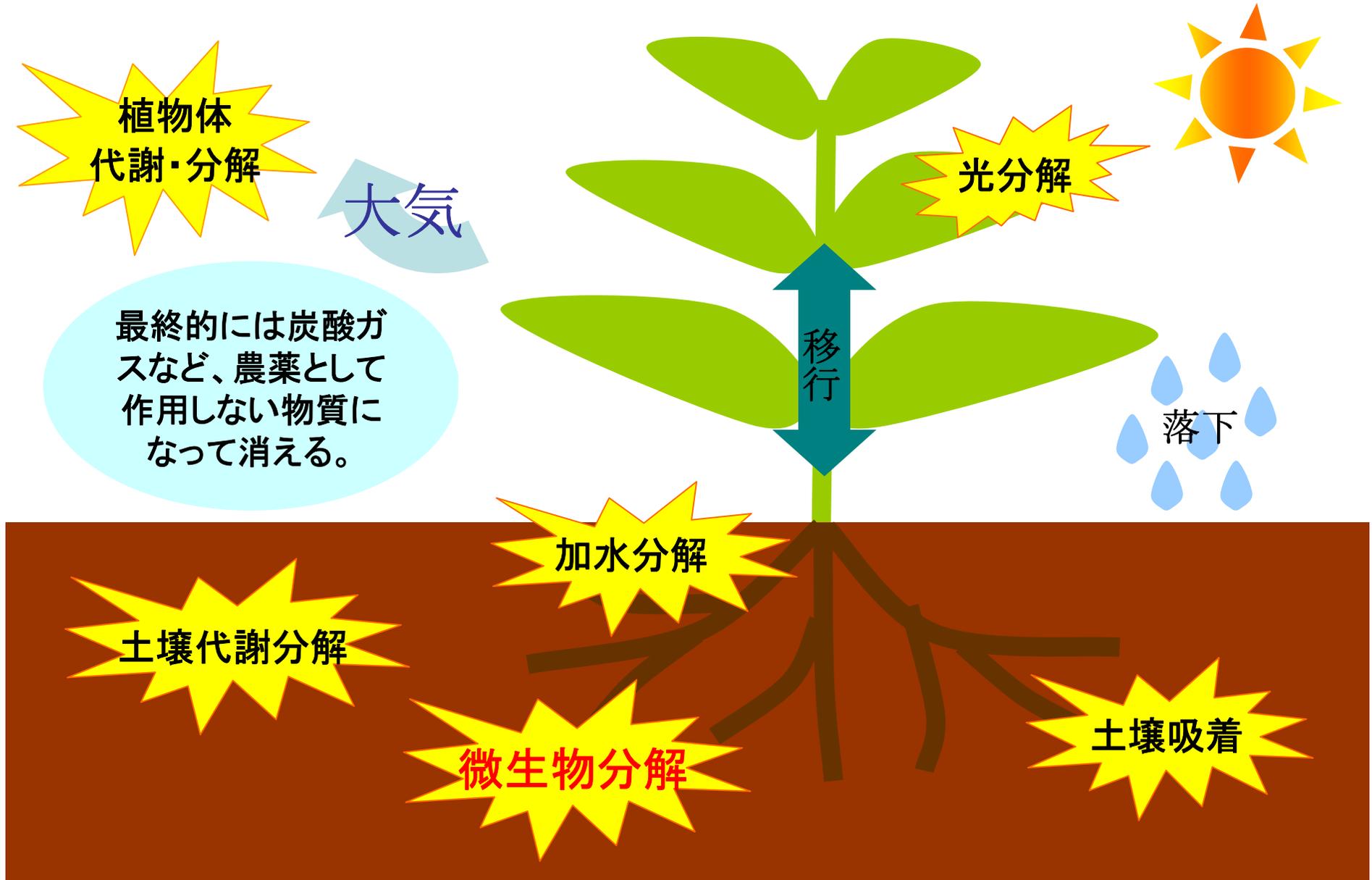
コイ LC50(96hrs.) 4.2mg/L ミジンコ EC50(48hrs.) 3.2mg/L

藻類 EbC50(72hrs.) 53mg/L

魚毒性B類相当



グラフティ顆粒水和剤の散布後



グラフティ顆粒水和剤の特徴

- 1. 長い残効性を持つ発芽前土壌処理剤**
雑草の発生を長い間抑制する。
- 2. 幅広いスペクトラム**
1年生イネ科雑草のみならず1年生広葉雑草にも高い効果を示す。
- 3. 安定した除草効果**
土壌吸着性が高く、安定した処理層を形成する。
- 4. 高い安全性**
樹木に対する影響は少ない。
- 5. 従来 of 土壌処理剤と異なる作用性を示す**
セルロースの生合成を阻害する。

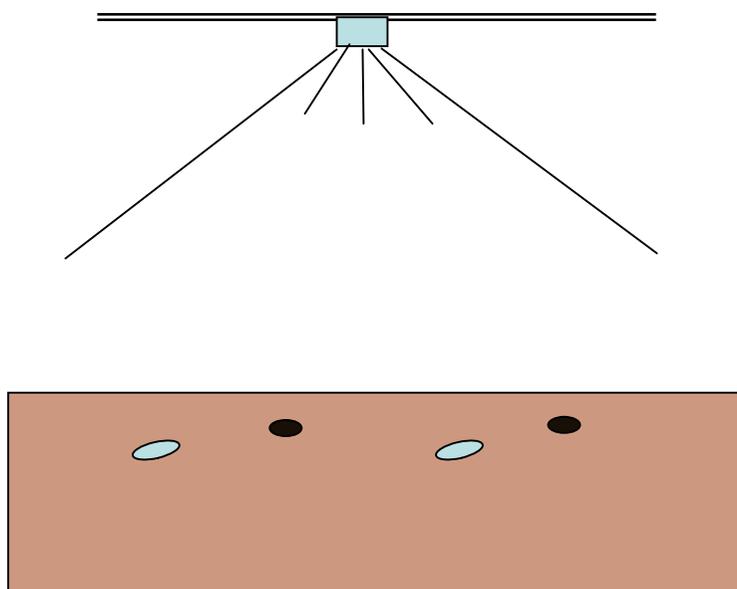
1. 長い残効性を持つ発芽前土壌処理剤



グラフテイ顆粒水和剤の除草剤の種類

土壌処理型

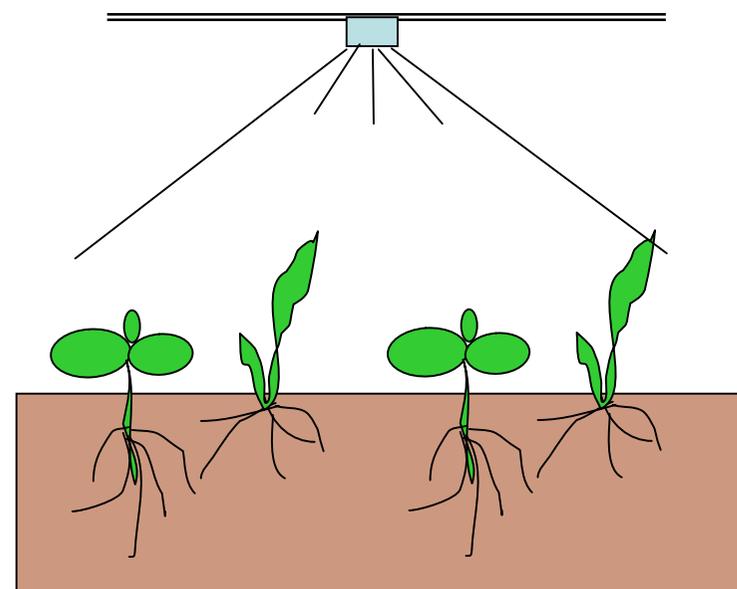
雑草発芽前の処理で効く。



- 発芽時の雑草の幼根および幼芽から吸収される

茎葉処理型

雑草発生後の処理で効く。



- 雑草の茎葉表面に付着した後、茎葉表面のワックス層を通して吸収される

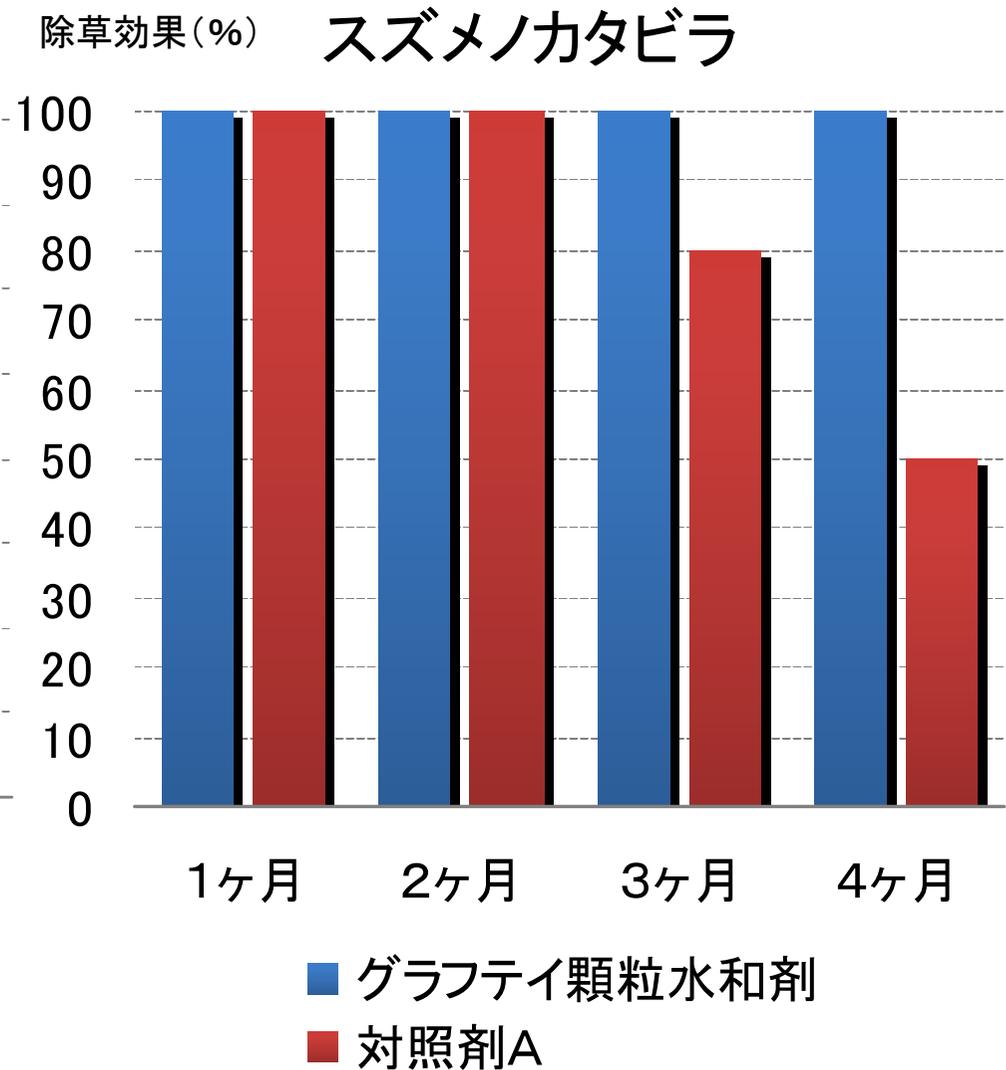
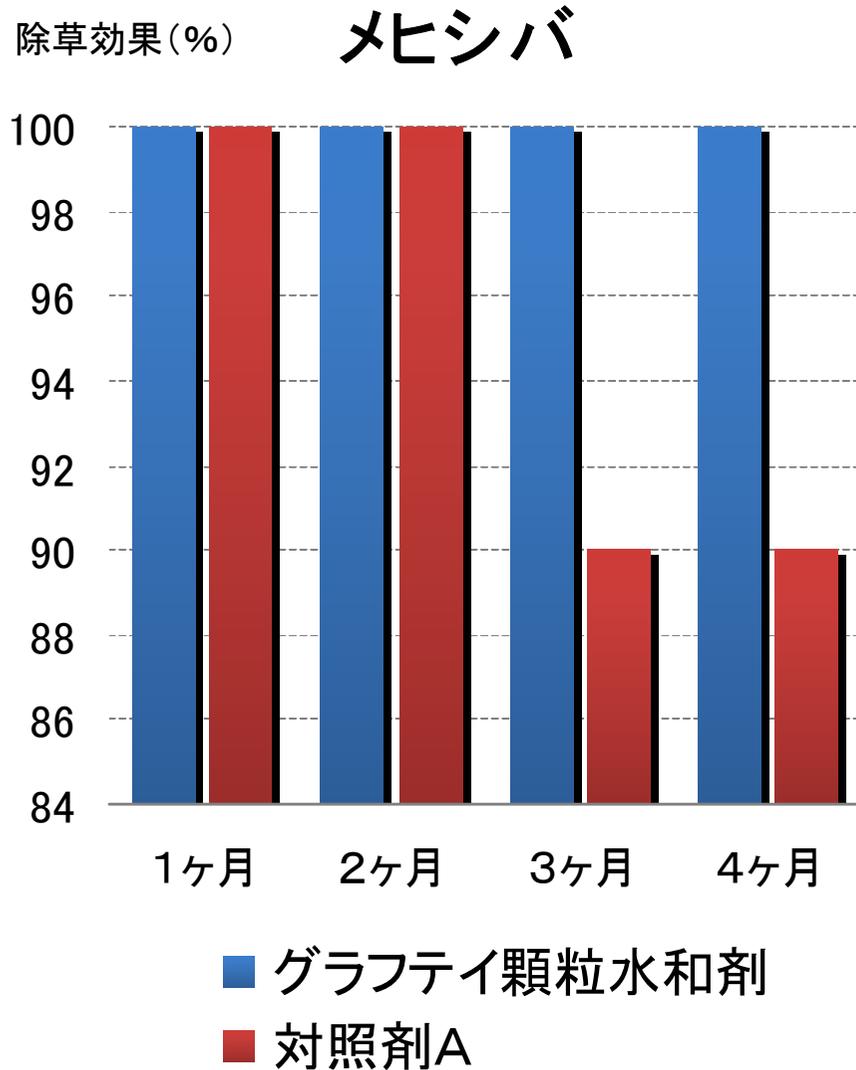
処理日 : 2006.12.5
調査日 : 2007.4.25

無処理区

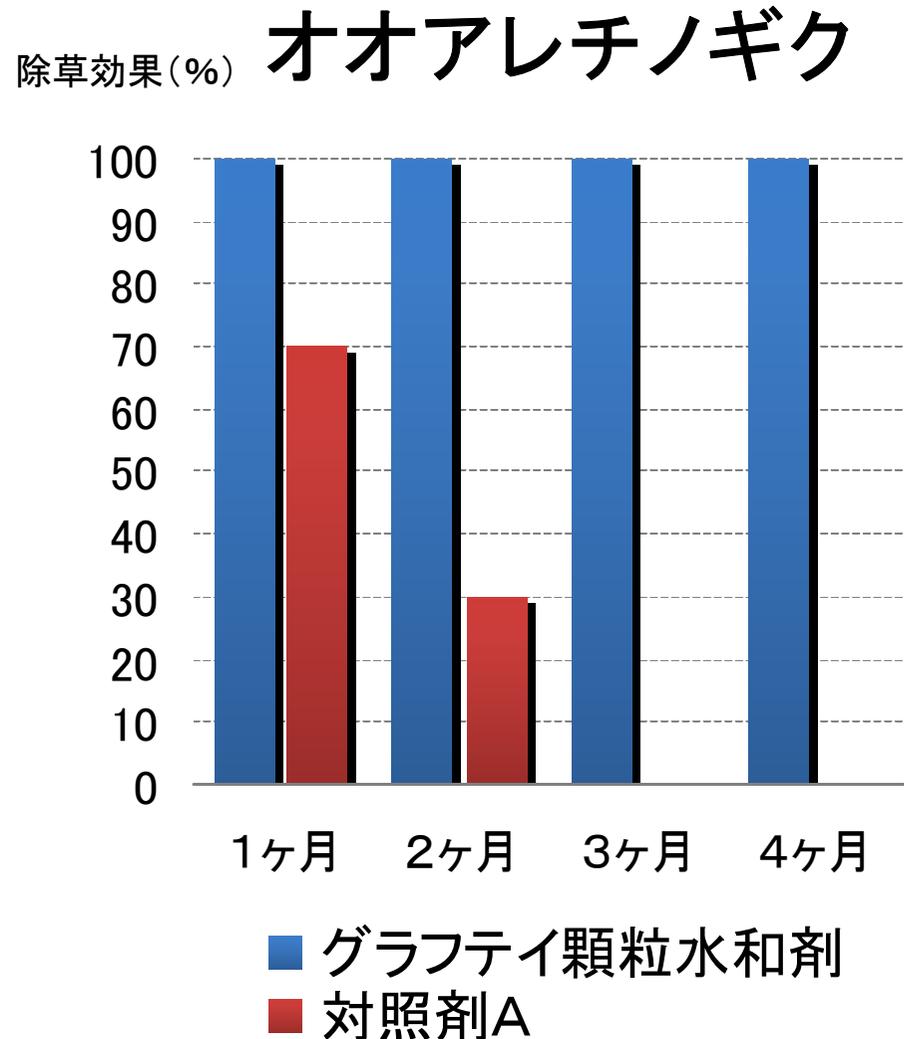
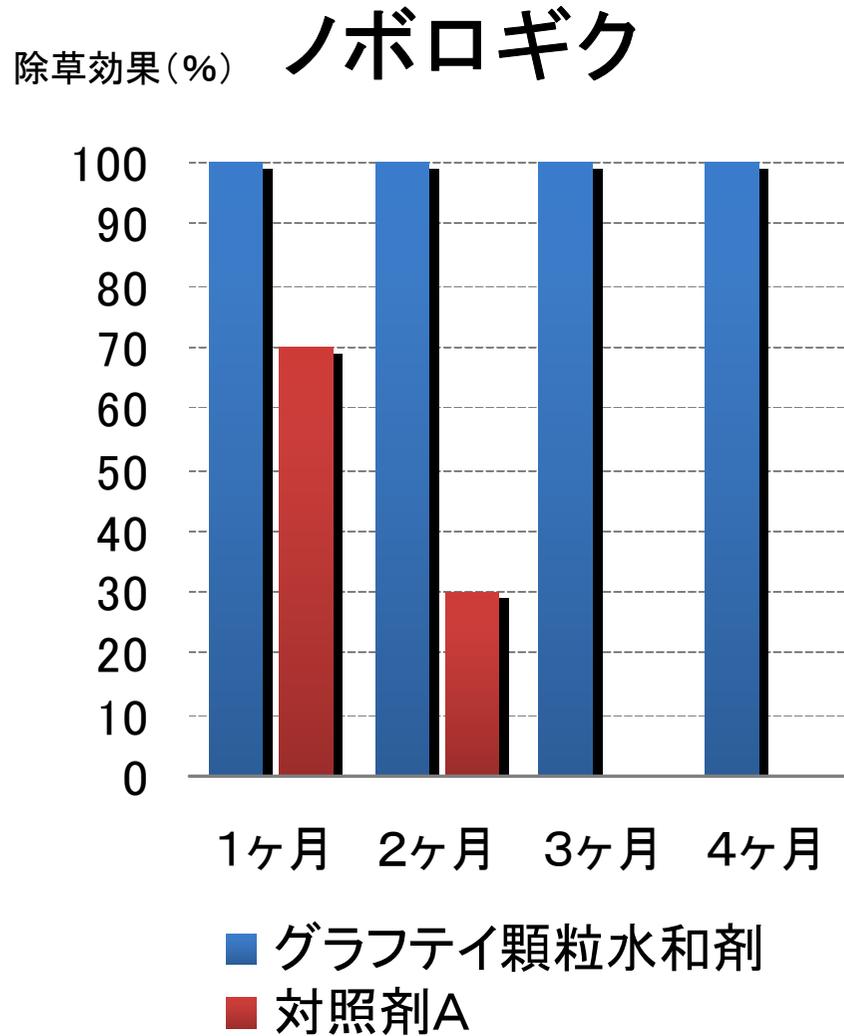
グラフテイ処理区



対象雑草別残効期間の比較



対象雑草別残効期間の比較



2. 幅広いスペクトラム(発芽前土壌処理)

イネ科	メヒシバ	●
	スズメノカタビラ	●
	オヒシバ	●
	エノコログサ	○
	スズメノテッポウ	●
	スズメノヒエ	□
アブラナ科	タネツケバナ	●
シソ科	ヒメオドリコソウ	●

キク科	オオアレチノギク	●
	ハルジオン	●
	ヒメジオン	●
	ノボロギク	●
	セイヨウタンポポ	●
	ノゲシ	◎
	ウラジロチチコグサ	●
	ヒメムカシヨモギ	●

●極大(100%)、◎極大(99~95%)、○大(94~90%)、□中(89~80%)、▲小(79~60%)、×無(59%~)

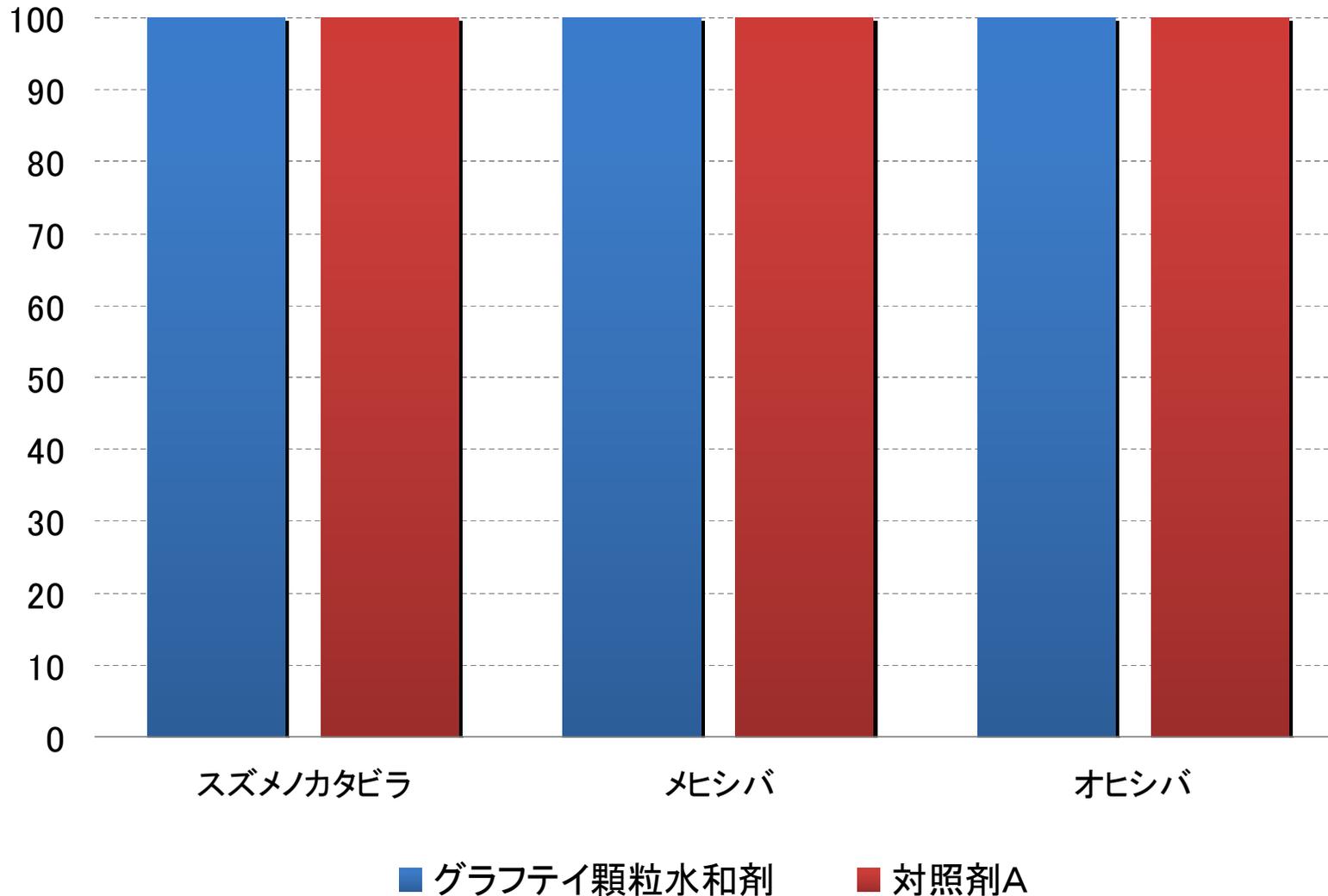
マメ科	シロツメクサ	●
	コメツブツメクサ	●
	ヤハズソウ	◎
	カラスノエンドウ	◎
ナデシコ科	ツメクサ	●
	ハコベ	●
	オランダミミナグサ	●

ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	●
	タチイヌノフグリ	●
スベリヒユ科	スベリヒユ	●
オオバコ科	オオバコ	●
タデ科	オオイヌタデ	◎
トウダイグサ科	コニシキソウ	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	◎

●極大(100%)、◎極大(99~95%)、○大(94~90%)、□中(89~80%)、▲小(79~60%)、×無(59%~)

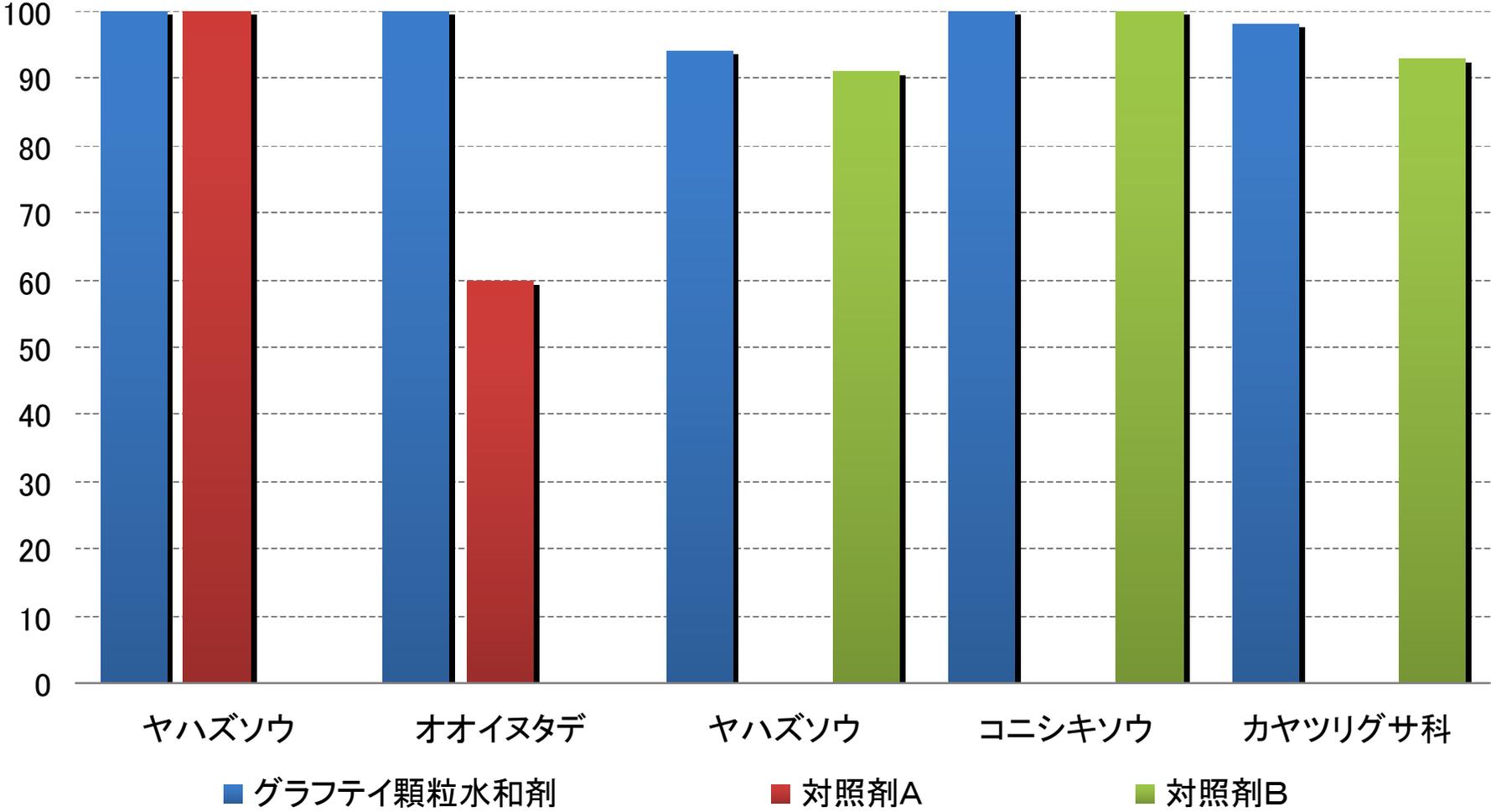
イネ科雑草に対する効果

除草効果(%)



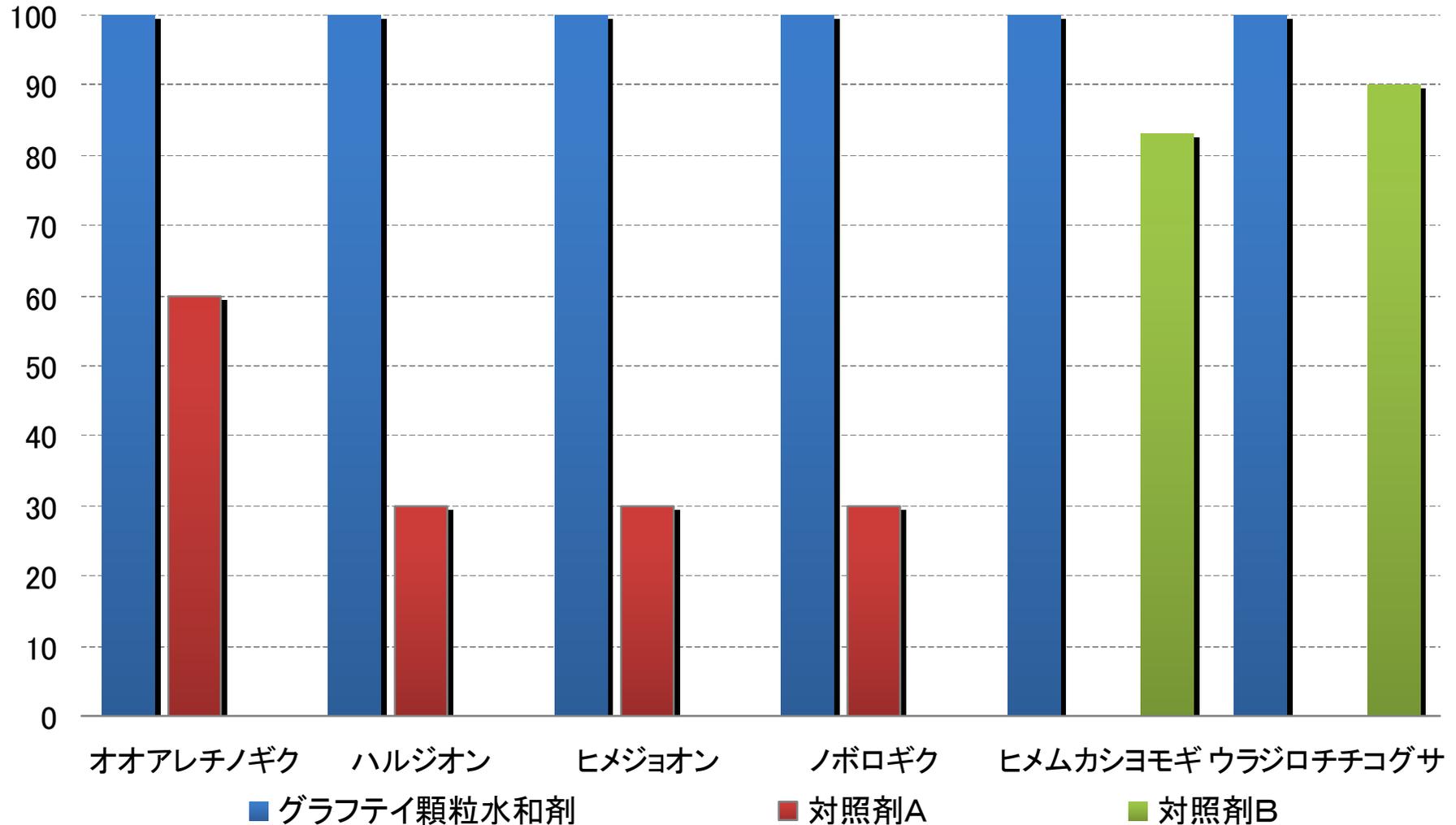
広葉雑草に対する効果

除草効果(%)



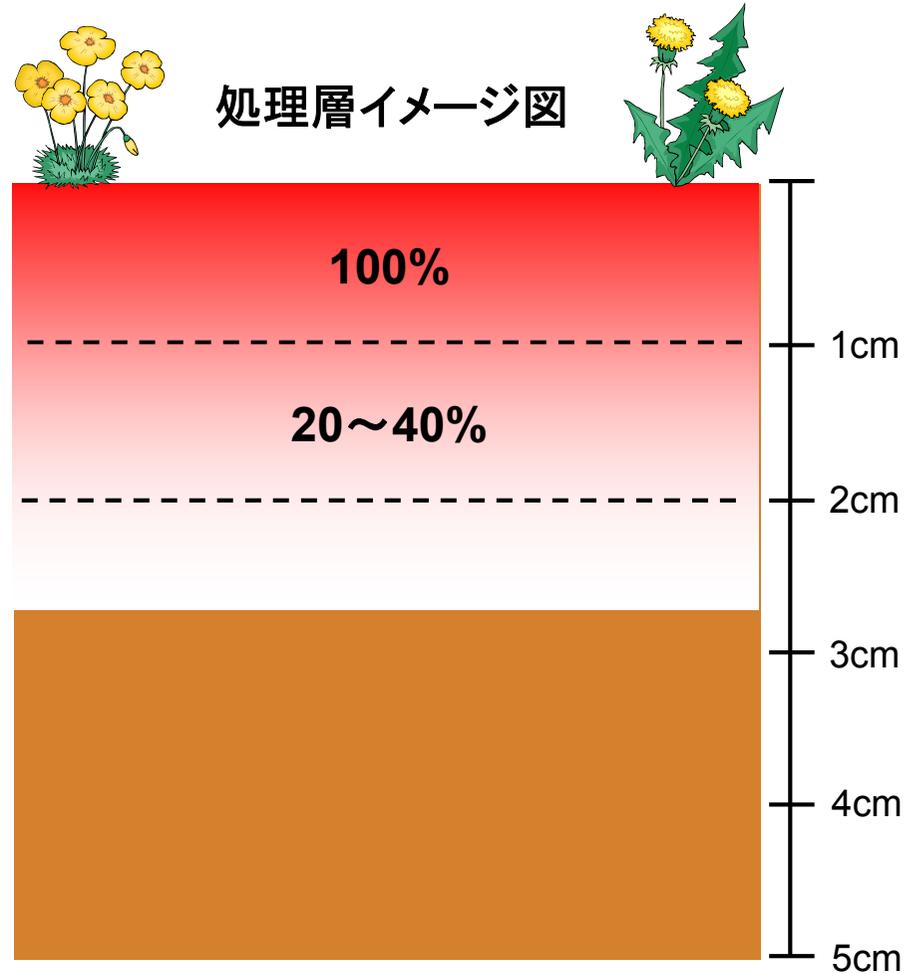
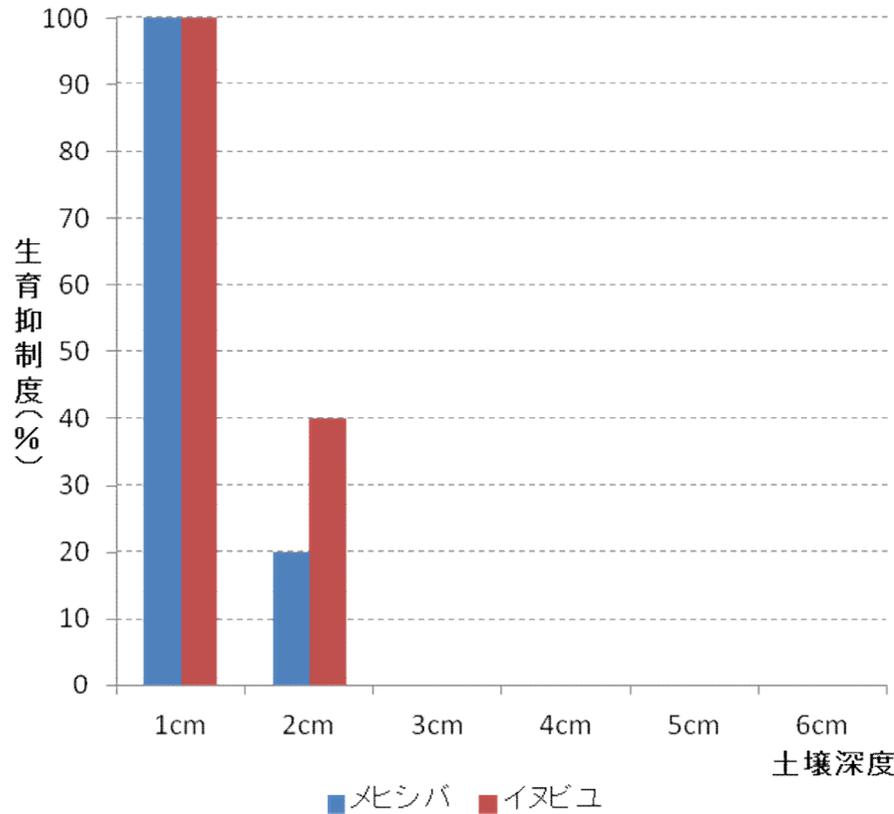
キク科に対する効果

除草効果(%)



3. 安定した除草効果

～土壌処理層・土壌移行性～



土壌 : 山北土(有機質含量0.6%)
方法 : 土壌カラム使用、降雨量30mm/5hr.

4. 高い安全性

茎葉処理

薬量0.6g/m² 水量200ml/m²

樹木	サツキ	ツツジ	カナメモチ	サンゴジュ	コノテガシワ
グラフティ 顆粒水和剤	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし

土壌処理

薬量0.6g/m² 水量200ml/m²

樹木	サツキ	ツツジ	カナメモチ	サンゴジュ	コノテガシワ
グラフティ 顆粒水和剤	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし

樹木に対する影響



土壌処理散布における

樹木への影響は認められていません

直接新葉・新芽に散布した場合

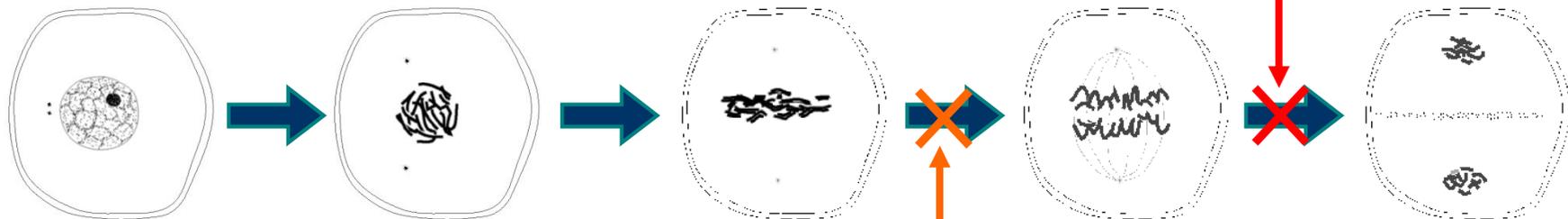
影響なし	サツキ	ヒイラギ	ゴールドクレスト
	ドウダンツツジ	ヤナギ	マツ
	コノテガシワ	カエデ	マキ
	ツツジ	ツゲ	マサキ
新葉の褐色枯死	ヤマモモ	サクラ	サルスベリ
	サザンカ	ナシ	
新葉のアントシアン増加	モッコク	サンゴジュ	カナメモチ

5. 従来の土壌処理剤と異なる作用性

- 植物体内での移行性ほとんどありません
- 根端、幼芽部分裂組織に接触することで作用します
- 細胞分裂時の細胞壁の合成を阻害(セルロース生合成阻害)します

グラフテイ顆粒水和剤の作用部位

細胞分裂時の細胞壁の生合成を阻害



ジントロアリン系除草剤等の作用部位

細胞分裂時の紡錘糸の形成を阻害

グラフテイのこんな使い方いかがですか？

- 植物成長調節剤との混合散布
⇒ 景観を重視した緑地管理
(マゾラー、路側帯、工場緑地 等)
- 非選択性茎葉処理剤との体系処理
⇒ 雑草の発生を完全に抑えたい緑地管理
(鉄道、タンクヤード、消防法の規制がある緑地)



処理日:2013.3.22
調査日:2013.7.24



グラフティ顆粒水和剤

+

グリーンフィールド水和剤散布区



処理日:2013.3.22

グラフティ+グリーンフィールド



調査日:2013.7.24

非選択性茎葉剤 散布区



非選択性**土壌**処理剤 → 非選択性**茎葉**処理剤 + **グラフテイ**

《メリット》 ① 樹木下に散布することが可能

② グラフテイの残効性は農薬の中でトップクラス

